

ハートが たくさんの村づくり

No.77

差別のない明るい南阿蘇村をつくりましょう

人権とはなんですか？

人権とは「すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」あるいは「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持っている権利」であって、だれにとっても大切なもの、日常の思いやりの心によって守られなければならないものです。今回は同和問題について考えてみましょう。

◆同和問題について考えてみましょう。

日本固有の人権問題である同和問題は、封建社会の政治や経済の仕組みの中で、人為的に作りあげられた身分制度に由来するもので、特定の地域の出身であることや、そこに住んでいることを理由とした差別です。

現在も、出身地や家族の状況を理由に、結婚に反対することなどがあります。

また、就職面接における不適切な質問や、最近ではインターネットを利用した差別情報の掲載などの問題も生じています。

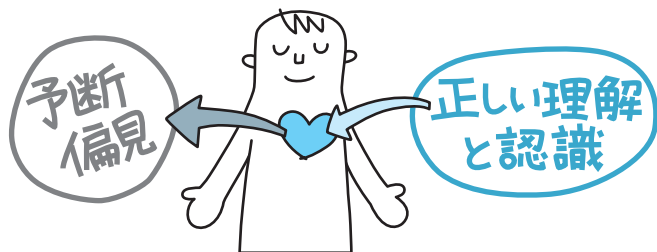
ある地域に生まれたから、住んでいるからという理由だけで、人権が侵害され、心に傷を受けたり、不利益を被ったりするようなことはあってはならないことです。

そして、差別をする人、無関心でいる人の存在が依然として同和問題の解決を遅らせている原因の一つとなっていることを理解する必要があります。

◆同和問題の解決に向けて私たちが取り組むべき事は何でしょうか？

同和問題については、現在でも結婚や就職差別などに見られるように、差別意識が根強く残っています。

差別意識をなくすために、心の中にある予断・偏見を取り除き、同和問題についての正しい理解と認識を深めていく必要があります。そのためには、次のようなことが大切になります。



思い込みや偏見をなくす

- 偏見をなくすには、ものごとを正しく見ようとする意欲、相手の立場や気持ちをわかろうとする姿勢、ものごとを表面的にとらえず深く掘り下げるものの見方が大切です。

迷信や世間体にとらわれない

- 他人の噂話などに影響されない広い視野を持ち、自分自身で考え、判断することが大切です。

同和問題の正しい理解

- 同和問題について、正しく学ぶことによって、いかに差別が不合理なものであるかに気づくはずです。

(熊本県人権啓発冊子「くらしと人権」より抜粋)

村民の皆さま みんなで差別のない「ハートがたくさんの村」をつくりましょう。

役場 人権対策課